

第2回 食育推進検討部会 食環境整備検討会会議録	
日 時	令和5年7月19日（水）18時30分～20時30分
開 催 場 所	市庁舎18階さくら14会議室
出 席 者	食環境整備検討会委員6人（別添資料1）
欠 席 者	2人（株式会社セブン-イレブン・ジャパン 圖司アドバイザー、 株式会社ダイエー 持田アドバイザー）
開 催 形 態	公開 ※4議事 食環境づくり協力店の枠組みについては非公開（傍聴者0人）
議 題	1 開会 2 あいさつ 3 報告 モデル事業の取組状況について 4 議事 食環境づくり協力店の枠組みについて 5 その他 今後のスケジュールについて
1 開 会	
2 あいさつ	（金子部会長） 円滑な議事進行に御協力いただきたい。 （事務局） 配布資料の確認（資料1～5） （金子部会長） 当検討会は、横浜市の情報公開条例に基づき原則公開としているが、議事「食環境づくり協力店の枠組みについて」は、企業の個別の取組を含んでおり、公開すると企業の運営に支障をきたす恐れがあることから、非公開としたいが、よろしいか。 （異議なし）
3 報 告	（金子部会長） モデル事業の取組状況について、事務局から経緯の説明と、相鉄ローゼン吉田委員から、販売開始後の状況について報告をお願いしたい。 （事務局） 資料説明（資料3） （吉田委員） 野菜をたくさん使い、食塩相当量を2.8gに抑えた「ハマの元気ごはん弁当」を横浜市と共同開発し、7月1日からお弁当の販売を開始した。全51店舗（市内26店舗）で、10日程度で約1万食を販売した。定例記者会見をしたことで、マスコミの新聞掲載やテレビ神奈川に取り上げていただいた。 健康とボリュームという今までなかった視点で、栄養士の助言のもと、作り上げることができた。横浜市の健康課題としている部分について、「がつつり食べても実は健康だった」というところが実現できるとよいと思う。

	<p>(君塚委員) よく売れる時間帯はあるか。</p> <p>(吉田委員) お昼前と、16時以降、20時前後に販売数が多い。</p> <p>(君塚委員) 賞味期限はどのくらいか。</p> <p>(吉田委員) 調理後、その日のうちに販売する。</p> <p>(君塚委員) 全体では何食くらい販売するのか。</p> <p>(吉田委員) 当初は1.6万食を想定していた。アンケートをとっていただき、今後分析もしていただく予定。</p> <p>(君塚委員) アンケートはどのようになっているのか。</p> <p>(事務局) お弁当のラベルに二次元バーコードを印字しており、横浜市電子申請システムから回答する形になっている。</p> <p>(赤松委員) どんな年代の方が購入されているか。男性やターゲット層の購入はあるのか。</p> <p>(事務局) 「ハマの元気ごはん弁当」の喫食者アンケート報告(7月9日時点)(※資料投影のみ)</p>
4 議 事	<p>食環境づくり協力店の枠組みについて</p> <p>健康横浜21推進会議運営要綱第8条に基づき、委員の承諾得て非公開とした。食環境づくり協力店の枠組みについて検討を行った。</p>
5 その他	<p>今後のスケジュールについて</p> <p>(事務局) 長時間にわたり御討議をいただいたことを感謝する。以上で閉会とさせていただきます。</p>
資 料	<p>資料1 食環境整備検討会委員名簿</p> <p>資料2-1 健康横浜21推進会議運営要綱</p> <p>資料2-2 食育推進検討部会設置要綱</p> <p>資料3 食環境づくりにおけるモデル事業について</p> <p>資料4 令和5年度 食環境づくりスケジュール</p> <p>資料5-1、2 食環境づくり協力店の枠組みについて</p>